

あしよる

広報

平成30年
(2018)

NO. 786



- 平成30年北海道胆振東部地震
- 敬老の日特集



町公式
サイト
QRコード

平成30年北海道胆振東部地震

突然の地震と停電で足寄町は…



灯火が消えた交通信号機と手信号を行う警察官

9月6日午前3時8分ごろ北海道胆振地方中東部を震源とした地震が発生。最大震度は胆振管内厚真町で震度7、本町では震度3を観測しました。地震発生直後から北海道全域で停電となり、早期復旧が見込まれないことから、町内小学校や中学校、高等学校が休校、町国民健康保険病院が休診、あしパスが運休となるなど、町内では混乱となりました。

7日午前3時ごろには市街地の一部、午後2時ごろには栄町などで通電が開始されましたが、町内全域の復旧にはいたらないことから、老人憩の家や上利別基幹集落センター、大誉地集落センター、らわん路の里の施設のほか、シャワースペースとして総合体育館と温水プールを開放しました。また、夕方ごろからは固定電話やインターネット回線、一部の携帯電話会社を除き携帯電話の通信が遮断され、連絡や情報収集の手段が狭まりました。

8日午前0時18分ごろ町内全域で通電が開始され、午後2時15分ごろには固定電話やインターネット回線も完全復旧しました。

停電時、町内では灯火が消えた交通信号機の代わりに警察官の手信号が行われたほか、店舗では、パン、即席米、

缶詰、乾電池、ろうそくなどが早々に買い求められ、陳列棚が空の状態が続きました。ガソリンスタンドでは、ガソリンを買い求める人の車の長い列ができ、限定した油種のみ販売をしている店舗もありました。また、役場では携帯電話の充電スポットを開設し、約30人が利用しました。

酪農家では停電による生乳廃棄が160トンで約1,600万円の被害となったほか、電気が無く搾乳ができないう時間が長く続き、213頭の牛が乳房炎を発症し、そのうち1頭が死亡、3頭が廃用となる事態となりました。

足寄火葬場では、本別町からの依頼を含めた3件の火葬が発電機で対応されました。

さらに、町内の商工業者では、冷凍食品、生鮮食品などによる商品廃棄および売上損失、宿泊客の予約キャンセルなど約2,000万円の被害額となりました。



役場に開設した携帯電話の充電スポット

本町職員を派遣

地震の影響により、家屋の倒壊や土砂崩れなど大きな被害を受けた胆振管内厚真町、安平町、むかわ町の3町から北海道の災害対策本部に職員の派遣要請があり、十勝管内の職員64人、本町から3人の職員を9月15日から5日間派遣し、支援にあたりました。

本町の職員は安平町に派遣され、水道復旧業務1名、一般事務補助業務2名に分かれて作業にあたりました。水道復旧は漏水調査等の水道復旧に係る業務、一般事務補助は被災した書庫や防災倉庫から、散乱した書類、備蓄物品等の移設、墓地での墓石の倒壊調査、公営住宅入居者に利用料減免通知の配布を行いました。

派遣業務の終了時点で安平町は、水道復旧エリアが90%を超えるまでに復旧しましたが、一部の地域では断水が続き、住宅や店舗で外壁などが崩壊していたり、公営住宅が土砂災害による危険の恐れがあるなど、多くの方が避難所での生活を余儀なくされている状況でした。

町民が安心して暮らせるための完全な復旧までには、相当の期間を有し、今後も行政やボランティアなどの支援が必要な状況です。

今回の停電から学び、今後に備える

9月6日の停電後、町内の店舗では次の物が早々に買い求められました。自然災害は突然発生し、私たちの生活を脅かします。今後の非常時に備えて家庭の常備品を確認し、懐中電灯やラジオは家族で置き場所を決めておきましょう。

生活用品：カセットコンロ、ガスボンベ、乾電池、ろうそく、モバイルバッテリー

食品：パン、即席米、即席麺、缶詰、ゼリー

オール電化住宅は、停電時にも使える調理器具や暖房器具を備えておくことが必要です。



即席米が並んでいた空の陳列棚（町内店舗）

停電が起こったら

再び電気がついたときの事故防止のため、アイロンやドライヤーなどの電熱器具はコンセントからプラグを抜いておきましょう。また、家の外に避難する場合には電気の消し忘れによる火災・事故（通電火災）を防ぐために、忘れずにブレーカーを「切」にしましょう。

大規模停電が発生した場合、本町では状況に応じて防災行政無線や広報車で停電や施設開放情報などをお知らせします。お知らせ内容は町ホームページ「防災無線WEB」からも確認できますので、活用ください。

非常事態が発生した時の不安を少しでも軽減するため、日ごろから備え、家族で連絡や行動などを話し合っておきましょう。また非常時は正確な情報の下、慌てず、冷静な行動を心掛けましょう。



灯火が消えた交通信号機（下愛冠）



町内のガソリンスタンドに並ぶ車の列



パンが並んでいた空の陳列棚（町内のコンビニエンスストア）



敬老の日特集

～いつまでも元気に生き生きと～



渡邊 ノブ子 (99歳)
大正7年10月生まれ



曾根 隆子 (99歳)
大正7年10月生まれ

◆白寿を迎えた方
毎年、町では白寿(99歳・大正7年9月16日〜大正8年9月15日まで)に出生)、米寿(88歳・昭和4年9月16日〜昭和5年9月15日まで)に出生)、喜寿(77歳・昭和15年9月16日〜昭和16年9月15日まで)に出生)を迎えた方に、お祝いとして足寄町商工会商品券を贈っています。ご長寿、おめでとございます。



道上 キヨ子 (99歳)
大正8年6月生まれ



須藤 アヤ子 (99歳)
大正8年3月生まれ



難波 ひさ子 (99歳)
大正8年1月生まれ



◆楽しい老人のつどい
9月15日、町社会福祉協議会(國見勲会長)主催の第45回楽しい老人のつどい「レクリエーション大会」が総合体育館で行われ、町内各地域からお年寄りなど200人が参加しました。参加者は、赤色・黄色・青色の3チームに分かれ「じゃんけんリレー」や「ラインカーリング」「玉入れ」など10種目の競技を行い交流を深めました。



◆敬老の日お祝い会
9月15日、ケアハウス銀河の里あしよろ(中山貴博施設長)で、ほほえみ自治会主催の「敬老の日お祝い会」が開かれました。渡辺俊一副町長らのあいさつの後、参加者は食事をしながら、民謡や舞踊などを楽しみました。

長寿と健康を祝して

9月17日の敬老の日になみ、町内では敬老会などの長寿を祝うさまざまな催しが行われました。現在、町には100歳以上の方が7人、白寿(99歳)を迎えた方が6人おり、野中正造は113歳と男性世界最高齢となっています。今月号では、今現在でもお元気で、町の発展に貢献してくださった「人生の大先輩」をご紹介します。

◆100歳以上の方



菊地 トシ子 (106歳)
明治44年10月生まれ



野中 正造 (113歳)
明治38年7月生まれ



仁木 淳 (101歳)
大正6年1月生まれ



栗尾 ヨシ子 (102歳)
大正5年3月生まれ



野中 清子 (100歳)
大正6年10月生まれ



原 千代子 (101歳)
大正6年6月生まれ



星 キミ子 (101歳)
大正6年2月生まれ

千春歌唱&ものまねのど自慢大会



8月26日、松山千春さんの故郷である足寄町で千春さんの歌を気持ちよく歌ってもらおうと、今年で2回目となる「足寄町開町110年記念 千春歌唱&ものまねのど自慢大会」(あしよろ道の駅前活用推進委員会主催)があしよろ銀河ホール21前広場で行われ、炎天下の中、東京都や函館市などから訪れた20組が出場しました。出場者自ら準備した音源や演奏の下、4分間という限られた時間の中で、千春さん公認のものまねタレントである「こんちはる」さんによって審査が行われました。

会場には道内外から約300人の観客が集まり、千春さんになりきって気持ち良く熱唱する出場者に声援や拍手が送られていました。



こんちはるさん(前列左から4人目)と出場者

写真をご希望の方は広報広聴担当まで

町ホームページのあしよろルポでは、取材写真を多数掲載しています。ぜひご覧ください。

恒久平和を願う

町戦没者追悼式が町消防庁舎団員研修室で行われ、遺族や来賓など約90人が参列しました。式では参加者全員で黙祷を捧げた後、安久津勝彦町長が「命や平和の尊さを次の世代に継承していくことが私たちの責務です」と式辞を述べたほか、足寄高等学校生徒会長の松寿めぐみさんが追悼の言葉を述べました。



大きく育ったよ

町認定こども園どんぐりの園児が野菜の収穫を行いました



こあら組(にんじん)



らいおん組(えだまめ)



うさぎ組(たまねぎ)



ぱんだ組(じゃがいも)



8/30

パントマイムを体感

芽登小学校(林正浩校長)でパントマイム鑑賞会が行われ、全国各地で活躍しているクラウンYAMAさんが同校児童(22人)や芽登保育所の子どもたちにパントマイムなどを披露し、言葉を用いずに繰り広げられるショーに子どもたちは見逃さないようにと真剣に見入っていました。

心地よい汗を流す

「池田さんと楽しむ!ストレッチ&スポーツ体験教室」(町教育委員会主催、全3回)が総合体育館で行われ、15人が参加しました。

1回目のこの日は、ストレッチとミニバレーを行いました。参加者らは、簡単なストレッチで体を温め、ミニバレーで交流しながら楽しく汗を流していました。



9/5

イベント情報

足寄町110年記念

「ラジオ深夜便のつどい」公開録音

足寄町110年を記念して「ラジオ深夜便のつどい」の公開録音を本町で実施します。「ラジオ深夜便」のアンカートークや小林綾子さんの講演会をお楽しみください。多くの方のご来場をお待ちしています。

日時 12月8日(土) 午後1時30分〜 ※開場 午後1時

場所 町民センター

内容 第1部「明日へのことは講演会」

講師…小林綾子(女優)

第2部「アンカーを囲むつどい」

アンカー…須磨佳津江・迎 康子

入場料 無料

観覧は無料ですが、入場整理券(1枚につき1人入場可)が必要です。入場整理券は配布窓口(教育委員会生涯学習室)で受け取るか、電話で申し込みください。先着順で受け付け、定数になり次第、締め切りとなります。

※申し込みは代表者1人につき4枚までとします。
※1歳以上の子どものみから入場整理券が必要です。

詳細・申込先 教育委員会生涯学習担当 ☎25-31188



須磨さん



小林さん



迎さん

どんぐり運動会



9月8日、町認定こども園どんぐり（佐竹桃代園長）で「第12回運動会」が同園グラウンドで行われました。9月6日に発生した地震の影響で町内全域で停電となり、この日の開催が危ぶまれましたが、運動会を行うことで子どもたちが少しでも元気になれるようにと予定通りの日程で開催されました。子どもたちは「あきらめず、ゴールをめざして、がんばろう!!」のスローガンの下、個人や団体競技、遊戯などを元気に披露し、応援に駆け付けた保護者などから大きな拍手が送られていました。競技の最後に行われた年長組によるリレーでは、子どもたちや保護者などからたくさん声援が飛び交いました。

輝く夢に向かって



足寄高等学校 インターンシップ

生徒の職業観を育成することを目的として、足寄高等学校（笈川巧校長）2年生のインターンシップ（就業体験）が足寄町と陸別町にある24カ所の事業所で実施されました。

今回、9月25日と26日に町役場を訪れた同校生徒3人は、初日に安久津勝彦町長の講話の後、総務課で電話対応や事務作業、施設見学を行い、2日目は広報広聴担当として他の生徒のインターンシップの現場取材しました。

※以下の記事は足寄高等学校生徒が取材の下、作成したものです。（職員が校正を行ったものを掲載しています）

■足高生、インターンシップへ！
9月20日から30日の間で足寄高等学校の2年生がインターンシップを行いました。そのうち、26日に足寄消防署と町国民健康保険病院、足寄町役場を取材させていただきました。



消防車前でポーズを決める伊藤さん

消防署

伊藤力哉さんが2日目の消防署でのインターンシップを満喫していました。1日目は主に消防の業務、救急救命の講話やAEDの使い方止血などを学びました。2日目は防火服の着用の仕方などを行い「重い、暑い」と慣れない防火服に戸惑っている様子でした。

町国民健康保険病院

受付では安久津亜弥さんと池上歩実さんが医療事務の業務を体験していました。カルテを抱えて院内を行ったり来たり

ラリー北海道



国際ラリー「ラリー北海道2018」が9月14日に帯広市北愛国交流広場で開幕。3日間、帯広市や陸別町、本町などの林道で行われた競技には約70台のラリー車が走行し、国内外からラリーファンが集まりました。
「足寄ラリーパーク」では、あしよろ銀河ホール21北側駐車場をラリーカーが周回したほか、レプリカ車両展示などが行われました。上利別ギャラリーステージ「PAWSE KAMUY」には早朝からカメラを持った多くの人が観戦に駆け付け、ラリーカーがコーナーを豪快に走行するたび歓声が上がっていました。

と忙しそうな様子でした。患者さんの対応をしていた池上さんは「コミュニケーションが大切。挨拶を基本に生かしていきたい」と語っていました。
臨床に関する仕事を川崎冬馬さんと原子亜華さんが体験していました。私達が取材した時には尿検査の説明を受けているところでした。説明を受けた2人は「細かいところまで突き詰めていくことがすごいと思った」と目を輝かせました。
菅野菜々子さん、久保穂ノ花さん、佐々木文音さん、山田陸玖さんが看護の仕事の説明を受けていました。「自分の知らないことばかりで何を学んでも新鮮で楽しい」と一同声をそろえて話していました。



平技師から検査方法の説明を受ける川崎さんと原子さん（写真右から）

町役場

瀬下彩乃さん、斉藤澄さん、館結奈さんは総務課で仕事体験をしました。それ以外にも役場で行われているさまざまな町づくりの事業について学びました。さらに、この記事執筆するという貴重な体験をしました。「こうして役場の体験してみると職員の方々には本当にこの町のために力を尽くして仕事をされているということを感じた」と斉藤さんは語っていました。



医療事務を体験した安久津さん

平成30年度 全国学力・学習状況調査結果

本年4月17日に町内小学校6年生(58人)と中学校3年生(50人)を対象に国語、算数(数学)、理科の3教科に関する調査と生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査が実施されましたので、結果を公表します。全国学力・学習状況調査は、児童生徒の学力や学習状況を調査・分析し、教育施策の成果と課題の検証・改善、また学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に毎年実施されています。教育委員会では、この調査結果を活用し、今後も教育の改善・充実に努めていきます。

なお、調査の目的や結果は学力の特定の一部分であり、学校の教育活動の一側面であることを申し添えます。

■生活習慣や学習環境に関する調査

【自分には良いところがあると思う】

	小学6年生	中学3年生
足寄町	46.6%	48.0%
北海道	38.7%	34.4%
全国	41.2%	33.7%

【先生はあなたの良いところを認めてくれる】

	小学6年生	中学3年生
足寄町	50.0%	36.0%
北海道	40.9%	34.4%
全国	42.5%	32.5%

【家で学校の宿題をしていますか】

	小学6年生	中学3年生
足寄町	87.9%	72.0%
北海道	83.6%	68.8%
全国	87.9%	68.5%

【学校の授業以外1日当たり2~3時間勉強している】

	小学6年生	中学3年生
足寄町	6.9%	10.0%
北海道	12.8%	22.6%
全国	16.8%	25.9%

【1日当たりの読書の時間~まったくしない】

	小学6年生	中学3年生
足寄町	31.0%	28.0%
北海道	22.1%	30.7%
全国	18.7%	32.9%

■○理解し身に付いている内容

	小学6年生	中学3年生
国語	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて必要な情報を捉える 他のものと比較して書くことでよさが伝わることを捉える 	<ul style="list-style-type: none"> 段落が文章全体の中で果たす役割を捉える 話合いの話題や方向を捉えて的確に話す
算数	<ul style="list-style-type: none"> 数量の関係を理解し、数直線上に表すことができる 除数が小数である場合でも除法を用いていることを理解している 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な比例式を解くことができる 長方形やひし形が平行四辺形の特別な形であることを理解している
理科	<ul style="list-style-type: none"> 堆積作用について科学的な言葉や概念を理解している 	<ul style="list-style-type: none"> 考察した内容を検討し、台風の進路を決める条件を指摘できる

■○課題のある内容

	小学6年生	中学3年生
国語	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて内容を押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む 主語と述語の関係などに注意して文を正しく書く 	<ul style="list-style-type: none"> 行書の基礎的な書き方を理解して書く 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する
算数	<ul style="list-style-type: none"> 百分率を求めることができる 直径の長ささと円周の長さの関係について理解している 	<ul style="list-style-type: none"> 絶対値の意味を理解している 一次関数の意味を理解している
理科	<ul style="list-style-type: none"> 物を水に溶かしても全体の重さ変わらないことを体積が増えた食塩水に適用できる 	<ul style="list-style-type: none"> オームの法則を使って、抵抗の値を求めることができる

■平成30年度 全道・全国との比較 (おおむね同様 → やや下回る ⇨)

	国語A(知識)	国語B(活用)	算数・数学A(知識)	算数・数学B(活用)	理科
小学6年生	→	→	→	→	→
中学3年生	→	→	→	→	→
	全道	全国	全道	全国	全道

詳細 教育委員会教育支援担当 ☎25-3188

まちの健康だより 大 からだげんき

健康ポイントをためて 商品券をもらおう!

町民の皆さんに自らの健康増進に関心を持ち、健康づくりの活動に積極的に参加してもらうことを目的とした「あしよる健康ポイント」が5月から始まっています。

「あしよる健康ポイント」とは

各種健康診断を受診したり、健康教室やスポーツ教室に参加すると「健康ポイント」がたまり、6ポイント達成すると、町内で使える1,000円分の商品券をもらうことができます。20歳以上の町民を対象に、本年5月から平成31年2月末日までの期間で実施します。また、これまでに参加した対象事業などもポイントとなりますので、ぜひ下記の「ポイント対象事業」を確認してください。

6ポイントに達成した方は、書類等が必要な場合がありますので役場福祉課に連絡の上、窓口で商品券を受け取ってください(1人1回)。

ポイント対象事業

〈健康診断等〉

- 健康診断(国保特定健診、すこやか健診、後期高齢者健診、各職場健診、データ受領)①
- 脳ドック②
- PETがん検診⑤
- 胃がん検診(町集団健診・職場健診)①
- 肺がん検診(町集団健診・職場健診)①
- 大腸がん検診(町集団健診・職場健診)①
- 前立腺がん検診(町集団健診・職場健診)①
- 子宮がん検診(町集団健診・個別検診・職場健診)①
- 乳がん検診(町集団健診・個別検診・職場健診)①
- 結核検診①
- 歯周病検診①
- B型・C型肝炎ウイルス検診①
- エキソコックス検診①
- 献血①

〈保健事業等〉

- 健康づくり講演会「スポーツ栄養」※6月19日実施①
- 腎臓食学習会※2月実施予定①

健康づくり講演会「こころの健康」

- 健康づくり講演会「こころの健康」※2月実施予定①
- 認知症予防教室「あたまとからだの健康教室」※半分以上の参加①
- 認知症サポーター養成講座※10月15日実施①

〈教育委員会事業〉

- 元氣アップ運動教室※7月・11月実施①
- ノルディックウォーキングの旅※6月17日実施①
- スポーツ体験教室※9月実施①
- ふれあいスポーツ大会※8月26日実施①
- 町民マラソン大会※10月8日実施①

語尾の数字はポイント数を表しています。

健康診断を受診しましょう

町では、11月29日、30日の2日間、町民センターにおいて集団健康診断を実施します。健康状態を確認することができるのはもちろん、ポイントを獲得することができますので、ぜひこの機会に受診しましょう。

日時 11月29日(木) 30日(金)
午前7時~10時
場所 町民センター
(先着順時間予約制)

対象 国保特定健診
.. 40~74歳の国保加入者
すこやか健診
.. 35~39歳の町民
後期高齢者健診
.. 後期高齢者保険加入者

料金 無料
※胃がん・肺がん・大腸がん・前立腺がん検診を有料で追加できます。
健康診断申込期限 10月31日(水)

詳細・申込先 役場福祉課保健推進担当

☎25-2571



「災害は突然やってくる」
地震に関するさまざまなトラブル
の対処方法について

私は、9月に発生した平成30年北海道胆振東部地震で日頃の防災対策が大変なことを痛感しました。皆さんも同じではないでしょうか？そこで、今回は大規模災害が発生した後に起こりやすい消費生活に関するトラブルを紹介いたします。

〈相談事例〉
①賃貸住宅に住んでいる場合
Q：地震で倒壊の危険があると判定されたため、避難させられた。避難している間の家賃は支払わなくてはならないか？

A：家賃は通常に住むことができる部屋を貸主から提供されることへの対価ですので、改めて住むことができるようになるまで家賃を支払う必要はありません。

②賃貸アパートに住んでいる場合

Q：被災したアパートから退去しようと思ひ、貸主に連絡したら違約金を請求された。契約書にも同意したが災害の場合も支払わなくてはならないのか。

A：住み続けられないほどの被害があつて退去したいと申し出た場合、契約書の中に「天災のような不可抗力であっても違約金を払うものとする」との記述があつたとしても、高額な違約金が設定されている時は消費者契約法により、無効を主張できる場合があります。個別の事情によつて異なりますので弁護士会などに法律相談することをお勧めします。

【これもポイント！】

貸主側から退去を求められた場合においては、やむを得ず退去を促された場合でも建物が滅失していない以上は住み続けることができます。また、窓ガラス破損などの修繕費は貸主の負担であり、修繕が不可能な場合は家賃の減額請求を考えましょう。

③所有する建物等の修理の場合

Q：業者に災害で壊れた屋根の修理を依頼したら高額な代金を請求された。

A：業者に請求内容を確認しましょう。契約した覚えのない工事や修理費が含まれていた場合は、その部分についての支払いを拒絶することが可能です。契約書を交わす際には、業者の説明をうのみにしないで複数の会社から見積もりを取り、内容を十分に検討しましょう。

【これもポイント！】

災害の後、自宅を訪問してきたり、電話で強引に修理を勧誘する業者がいます。すでに修理が終わつてしまつた場合でも特定商取引法では契約書を受け取つた日から8日間はクーリング・オフができます。また、契約書に不備な記載があるときは正式な書面を受け取るまで、いつでもクーリング・オフができます。

④架空請求や不審な勧誘について

Q：災害義援金として「プリペイドカードの番号」を知らせる方法で受け取るの電話やメールが来た。

A：義援金や支援物資を募る電話がかつてきたり、メールが届いても募集している団体が実在しているのか、使道がはつきりしているのかをよく確認し、納得した上で寄付しましょう。

Q：被災地に物資を送りたいので未使用の商品や不用品などを集めていると電話があつた。断つたのに近所を回つていると家に押しかけてきた。

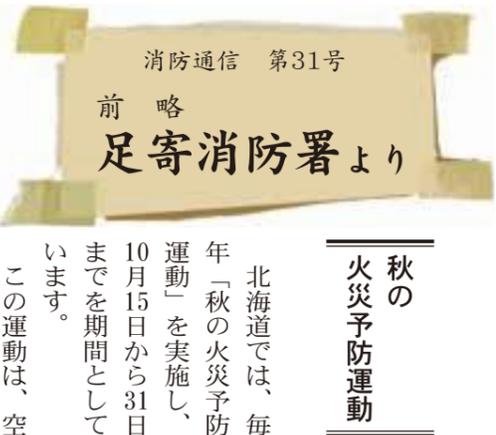
A：消費者の側から依頼していないのに突然訪問して商品を買収する行為は禁止されています。家にあげたりせずに警察や消費生活相談してください。

【これもポイント！】

投げ込みチラシなどで不用品回収を呼び掛ける業者もありますが、場合によっては高額な処理料金を請求されたり、不法投棄に加担してしまつたりする場合がありますので注意しましょう。

消費生活相談所に電話が通じないときは役場住民課住民生活担当か消費者ホットライン「188」にお電話ください。※局番は不要です。「嫌や！(イヤヤ!) 泣き寝入り！」で覚えましょう。

詳細 消費生活相談所(南6-2)
☎28-10585
役場住民課住民生活担当
☎25-12141内線222



秋の 火災予防運動

北海道では、毎年「秋の火災予防運動」を実施し、10月15日から31日までを期間としています。

この運動は、空気が乾燥し、火災が発生しやすい時期を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及と火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死傷者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として実施しています。火災予防運動期間に併わせ、消防団員による夜間警戒や防火パレード、街頭PR、女性団員による独居老人宅防火訪問等を実施します。

冬の季節は、暖房器具等の火気を使用する機会も増えてきます。一人ひとりの「慣れ」や「油断」から火災を起こさないためにも防火の重要性を十分に自覚し、次の「いのちを守る 7つのポイント」を参考に普段の生活の中で火災予防を実践しましょう。

いのちを守る 7つのポイント

3つの習慣・4つの対策

- ・寝たばこは、絶対やめる。
- ・ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ・ガスこんろなどのそばを離れる時は、必ず火を消す。
- 4つの対策
- ・住宅用火災警報器を設置する。
- ・防炎物品を使用する。
- ・住宅用火災警報器を設置する。
- ・お年寄りや身体の不自由な人を守るために、近隣住民の協力体制をつくる。

また、火災を未然に防ぐためにも、住宅周りに置いている可燃物の処理や住宅用火災警報器の作動確認、電化製品のコンセント付近の清掃・点検、ストーブの始動点検をする等、住宅内外を定期的に点検しましょう。

詳細 足寄消防署 ☎25-12619

年間出動件数(9月30日現在)
救急出動 279件(15件減)
火災出動 7件(同数)
※かつこ内は前年比

町民文芸 俳句

見たまま感じたまま

足寄凍土吟社

果てしなく千草ロール点々と

山岸 清子

亡き姉の面影ふつと夏の月

小山 博子

手に団扇女将笑顔のおもてなし

坂本 夢乃

仏壇へ姑好みの水羊かん

湯浅 保子

湯上りの肌にはどよき団扇かせ

吉田 哲子

踊子の背に揃いの団扇かな

高橋とし子

影光る水羊かんのガラス皿

山本ひろし

情報BOX

Ⓕ…ファクス
Ⓖ…ホームページアドレス
Ⓜ…メールアドレス

お知らせ

里見が丘公園の利用について

11月上旬から木製遊具（陸上競技場横）の撤去工事を実施し、来春から新たな遊具がオープンしますので、ご期待ください。

また、里見が丘公園内のふわふわドームの今年の利用は10月末で終了します。足湯施設（内湯のみ）については通年で利用することができますので、ぜひお立ち寄りください。

詳細 建設課管理・都市計画担当

☎25-2141内線374

テレビ受信障害対策工事について

足寄町の一部において携帯電話事業者による新しい電波の利用が開始されます。その電波が地上波デジタル放送

に影響を与える場合があるため、700MHz利用推進協会においてテレビ受信障害対策工事を実施します。11月22日ごろから事前にテレビ映像に影響が出る恐れがある一部地域のご家庭に、チラシの投函または訪問をしてお知らせします。

工事の費用は全て700MHz利用推進協会の費用負担（無償）で実施しますので、費用を請求することはありません。工事業者は「テレビ受信障害対策員証」を携行しています。不審に思われた場合は提示を求め、テレビ受信障害対策コールセンターにご連絡ください。

詳細 一般社団法人700MHz利用推進協会テレビ受信障害対策コールセンター ☎0120-700-012

行政相談週間のお知らせ

総務省では、10月15日から21日までの1週間を「行政相談週間」と定めています。

行政相談とは、行政への苦情や意見要望、行政についてわからないことなどを受け付ける制度です。手続きがわかりにくい、安全性に欠ける（公共）施設があるなど、ごなだでもお気軽にご相談ください。

詳細 総務省北海道管区行政評価局 ☎011-709-2311

「女性の権利ホットライン」強化週間

期間 11月12日(月)～18日(日)
専用電話番号

☎0570-070-810
受付時間 午前8時30分～午後7時
※土日は午前10時～午後5時
相談員 人権擁護委員および法務局職員

詳細 釧路地方務局人権擁護課 ☎0154-31-5014

自賠責切れていませんか

交通事故による死傷者数は年々減少傾向にあるものの、平成29年の事故発生件数は約47万件、死傷者数は約58万人となっており、国民の誰もが交通事故の被害者にも加害者にもなり得る極めて深刻な状況となっています。

自賠責保険・共済は、全ての車、バイク1台ごとに加算が義務付けられており、加害者の賠償責任を担保することで、被害者の基本的な賠償を保障する制度です。

詳細 国土交通省北海道運輸局帯広運輸支局 ☎0155-33-3286

10月は不正軽油防止強化月間

不正軽油とは、軽油に重油や灯油を混ぜたり、灯油や重油から軽油を製造したものなどをいい、これらを販売・使用することは、脱税行為であり、悪質な犯罪です。また、排気ガス中の窒素酸化物を増加させ、大気汚染の原因となり私たちの健康に重大な影響を与えます。

道では、不正軽油撲滅に向けて関係機関と連携し、軽油の抜取調査などをさらに強化します。「不正軽油」の話を聞いたり、見たりした時は、下記までご連絡ください。

不正軽油ストップ110番

☎0800-8002-1110

詳細 十勝総合振興局課税課事業税間 係 ☎0155-27-8510

バス運転体験&合同就職相談会を開催します

地域公共交通の維持確保に向けた喫緊の課題であるバス運転手不足の解消に向けて、十勝地区バス協会、十勝総合振興局などの主催で、「バス運転体験&合同就職相談会」を開催します。バスやタクシーの運転手に興味・関心がある方、就職を考えている方などの参加をお待ちしています。

募集

平成31年度入校生募集

国立北海道障害者職業能力開発校では、求職中の障がい者の入校生（訓練期間1年または2年）を募集します。

受付期間 11月1日(木)～20日(火)
試験日 12月3日(月)

詳細 国立北海道障害者職業能力開発校 ☎0125-52-2774

高等工科学校生徒を募集

応募資格 中卒（見込み含む）、17歳未満の男子

受付期間 推薦…11月1日(木)～30日(金)
一般…11月1日(木)～平成31年1月7日(月)

試験日 推薦…平成31年1月5日(土)～7日(月)までの指定する日 一般…平成31年1月19日(土)

詳細 自衛隊帯広募集案内所 ☎0155-23-8718

本別町から

「本のまち夢づくり講演会」のお知らせ

花と妖精などの美しいイラストでおなじみの永田萌（ながたもえ）さんを京都からお招きし、夢を持つことの大切さを語っていただきます。自作の読み聞かせやサイン会も予定しています。ぜひご来場ください。



日時 11月2日(金) 午後6時30分～
開場 午後6時
場所 本別町体育館中ホール
(本別町北2丁目 ☎22-2331)
講師 イラストレーター・絵本作家
・エッセイスト 永田 萌
入場料 無料(申込不要)
詳細 本別町図書館(本別町北2丁目)
☎22-5112

陸別町から

第57回 陸別町文化祭

町民による絵画、写真、書道、手芸などの作品や芸能発表をお楽しみください。皆さんのご来場をお待ちしています。

展示部門 (タウンホール)

10月27日(土)～11月3日(土) 午前9時～午後6時

芸能発表 (タウンホール)

11月4日(日) 午後1時～3時30分

詳細 陸別町教育委員会 ☎27-2123



くらしのよろず無料相談会

十勝で活躍する10士業が一堂に集まり、無料相談会を開催します。遺産相続、介護問題、離婚問題など幅広い分野に対応します。

日時 11月4日(日)午前10時～午後4時
(受け付けは午後3時30分まで)

場所 とちプラザ1階大集会室(帯広市西4条南13丁目)

相談者 弁護士、社会福祉士、司法書士、建築士、行政書士、税理士、ファイナンシャルプランナー、社会保険労務士、土地家屋調査士ほか

詳細 くらしのよろず無料相談会実行委員会(帯広商工会議所経営相談課) ☎0155-25-7121

北海道最低賃金

最低賃金 835円

効力発生日 10月1日(月)

うちの人気者

掲載を希望される方は、役場総務課総務室・広報広聴担当まで

阿部 宗依^{そういちゃん}

(平成28年10月13日生まれ)
日々、怒と哀の暴走に、父困惑、兄避難、母ため息。振り回される家族。でも喜と楽の瞬間に見せる笑顔に、皆が思う。我が家に来てくれてありがとう！

孝志・亜希子^{あきこ}の子
(西町6丁目)



和田 青士^{あおとちゃん}

(平成28年10月28日生まれ)
愛想が良く、青士を見るとみんなが笑顔になります。毎日楽しませてくれて、パパとママは幸せ。これからもよく食べ、よく寝て健やかに成長してね。

圭史・季佳^{あきか}の子
(南4条4丁目)



安田 優里^{ゆりちゃん}

(平成28年10月23日生まれ)
「アンパンチ!!」とよく寝言を言う娘。お話好きで、毎回レジの方にお菓子の説明をし、なんとも滑稽です。お姉ちゃんになり、日々たくましく成長しています。 英憲・志芳^{あきよし}の子
(西町2丁目)

ひとのうごき

9月末の住民基本台帳

人口	6,957人 (-18)
男	3,384人 (-6)
女	3,573人 (-12)
世帯	3,533世帯 (-6)

※住民基本台帳法の改正に伴い、外国人住民を含んだ数値となっています。

今月の表紙

9月8日(土)に行われた「足寄町認定こども園どんぐり運動会」でのスナップです。

(⇒8ページ)

編集後記

☆緊急地震速報で目覚めた9月6日午前3時すぎ。大きな揺れのあと、家の電気が付かないため外を見渡すとあたりは真っ暗。停電の復旧見込みがはっきりしない中、夜明けを迎えました。

☆そんな中、インターネット上では、「今回の地震は余震で2日以内に本震が来る可能性が非常に高い」とか「足寄町内で○時間後に断水するらしい」といったデマや根拠の乏しい投稿があふれました。情報がほしい時に入手できないと、不安になり、あやふやな情報を信じそうになるかも知れませんが、こういう時だからこそ、冷静に公的機関の実際の発表を確認するなど十分な注意が必要だと感じました。

広報あしよろ10月号 No.786

発行：足寄町

編集：総務課総務室 ☎25-2141 内線335

〒089-3797 北海道足寄郡足寄町北1条4丁目48番地1

<http://www.town.ashoro.hokkaido.jp>